

双调 轮名

高格 似 治

九台 九^早 个^早 具^早 十^早 上^早 具^早 一^早句 (双调 普取)

下^早 丁^早 十^早 台^早 此^早 具^早 (八^早 一^早 言^早) 一^早 此^早 具^早 美^早 七^早 九^早 十^早 乙^早 具^早 一^早 此^早 具^早 三^早

七^早 放^早 个^早 不^早 美^早 丁^早 绝^早 二^早句

个^早 押^早 绝^早 个^早 由^早 (美^早) 七^早 此^早 工^早 言^早 言^早 生^早 早^早 此^早 个^早 十^早 个^早 早^早 具^早

由^早 (美^早) 由^早 (十^早) 早^早 七^早 一^早 十^早 具^早 七^早 作^早 个^早 下^早 丁^早 个^早 不^早 乙^早 具^早 个^早 不^早 八^早 个^早 上^早 具^早

十^早 台^早 下^早 具^早 十^早 台^早 七^早 作^早 个^早 下^早 丁^早 个^早 不^早 美^早 丁^早 九^早 具^早 三^早句

此^早 上^早 押^早 此^早 早^早 早^早 八^早 乙^早 七^早 九^早 下^早 丁^早 个^早 不^早 乙^早 具^早 七^早 下^早 丁^早

言^早 放^早 个^早 十^早 台^早 十^早 台^早 由^早 (下^早) 一^早 九^早 具^早 四^早句

乙^早 放^早 九^早 台^早 九^早 台^早 真^早 乙^早 十^早 美^早 七^早 此^早 九^早 个^早 乙^早 十^早 美^早 具^早

七^早 台^早 此^早 具^早 个^早 十^早 台^早 下^早 丁^早 个^早 不^早 八^早 七^早 具^早 引^早 五^早句

八^早 七^早 上^早 八^早 七^早 八^早 个^早 不^早 七^早 具^早 七^早 一^早 下^早 具^早 七^早 十^早 具^早 下^早 不^早

十^早 台^早 个^早 不^早 乙^早 丁^早 九^早 放^早 十^早 台^早 个^早 不^早 上^早 具^早 十^早 台^早 一^早 具^早 早^早 七^早 一^早 八^早 具^早

十^早 台^早 个^早 不^早 十^早 台^早 上^早 具^早 个^早 不^早 放^早 个^早 不^早 八^早 具^早 十^早 台^早 上^早 具^早 下^早 丁^早 复^早 六^早句

三三三三吹

指有甲子△

地

(上_上・上_上・上_上) (上_上・上_上・上_上) (上_上・上_上・上_上)

替
まきこまに变化しつゝ

入子

指三

地_早 押 絶 地_三 甲
多・地・千・絶 (早) 入一

一_大 指 八_三 押 十_三 押 九_三 押 行・美・行・地・上_三 (早) 入二

地_上 押 千_三 押 絶 地_上 押 千_三 押 絶 上_三 押 地_上 押 絶 (早) 入四

(忌吃)

止子

十_押 上_押 千_押 七_押 上_押 十_押 具 下_押 京 延 6 6

六句以後は一管は地とつゞけ、他は入子と吃を、休め、吃し。
入子回句は極不同、多復句。交代して地とつゞけつゞけ。
同様につゞけろ。自由に歩かまゝか、てもよい。
独奏の場合は地を主とし、入子を挿入する。
最後の吃をいつ忌吃するが、止子と忌吃で。

(長吹)

双調輪舌 (1997)

高約念

(双調音取) (x=残, 禾=移) (丁=打)

八合 九上 復氣 十禾上 句 下丁 十x 十合 比具(八音) 比音x 比x

早(才=次第, 才=拾)

自是 才 比 比 三及 (P=DP) 七p放 行 美丁 絕句 行押絕句(後) 七比 工才 言具 (x=火)

言比 早行 早行 早由(美) 由(十) 七 十具 [下丁] 行 乙具 氣 行 八禾 上具

十合下 十合 七詐分 下才 下x 行 美丁 九具 氣 三句 比行十 比上 比x

八] 禾 七禾 九下 [工由(-) 行 七下 言] 七p放 八] 七] 具十 由(下) 九具 四句

行押乙p放 九合 氣 九具 氣 乙 十 美 七 比 打 九 乙 十 美 具 七 禾 比 具 [比詐] 一 早 下 禾

乙禾 八 七具 引 五句 上早 八 七 上 八 七 八 早 七具 七 一 下 具 七 押 具 下 禾 十 合 行

乙丁 九p放 十禾 禾上 行 禾 七 一 具 七] 八 具 十 禾 復 十 合 十] 行 押 放 氣 下 八 具 十 禾

上 早 下 丁 复 音

A short musical phrase on a five-line staff. The notes are: G4 (quarter), A4 (quarter), B4 (quarter), C5 (quarter). There are some markings below the staff, possibly indicating fingerings or breath marks.

拍早 ▷

地 [上] 上 上 上 上 上 上 上 上 上 替 (二拍子に變化しつ)

A musical phrase on a five-line staff. Above the staff are the notes: G4, A4, B4, C5, G4, A4, B4, C5. Below the staff are rhythmic markings: >, >, >, >, >, >, >. A box labeled '地' is on the left. To the right, there is a note '替 (二拍子に變化しつ)'.

拍無 拍早 拍早 拍早 拍早

入手 凡上押絶 千多 徐比千絶 八三 凡美千比上

A complex musical phrase on a five-line staff. It consists of two lines of music. The first line has notes: G4, A4, B4, C5, G4, A4, B4, C5. The second line has notes: G4, A4, B4, C5, G4, A4, B4, C5. There are many annotations above and below the staff, including '拍無', '拍早', '入手', '凡上押絶', '千多', '徐比千絶', '八三', '凡美千比上'. There are also some numbers like '三' and '四'.

(退吃) 早

止手 十 上 千 七 上 十 具 下 丁 复 延留

A musical phrase on a five-line staff. Above the staff are the notes: G4, A4, B4, C5, G4, A4, B4, C5. Below the staff are rhythmic markings: >, >, >, >, >. A box labeled '止手' is on the left. To the right, there is a note '延留'.

1997年6月14日

宮田まゆみ様
石川高様

札幌PMFで演奏していただく「双調輪舌」の楽譜です。指譜と5線譜と両方で書いてみました。今回は笙二管ですが、独奏でもできるようにつくってあります。音の長さは3通り、無印あるいは5線譜の白丸は比較的長く、「早」あるいは5線譜の黒丸は比較的短く、「ス」つまり「火」は装飾的音符になります。「由」は下方への速いユリになります。トレモロはt.の舌突きでもいいし、指孔を打ってもいいかもしれない。▽は強いアタックです。

六句以下の「地」は即興的変奏で、舞曲的にアタックのあるやや規則的な拍で、時に不規則に伸縮するテンポにしてください。それを交代で吹き、「地」を吹く役割から解放された側は「入れ手」を吹きます。これは、テンポを崩して、不定数回の反復は可能ですが、他の手にいく前には休止をはさんでください。独奏の場合は、「地」を主とし、「入れ手」をはさみます。輪のように歩きながら吹くこともできます。吹きながら退場してもいいし、「止め手」で終わってもいい。(今回は「止め手」の退吹で終わります。)